

セ ボ ス

セ
ボ
ス

ボランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2017.6 No.158

今月のトピック

特集●

生産者と消費者をつなぐ「農」の形

まちの市民力！ ● H A L U ~ Unique&Universal ~

キラリ世田谷人 ● 千葉 範子 さん



イラストレーション● 篠崎香織

「いろんな顔に」（右下が正位置） ひとつの絵を回転させるといろんな表情に…。笑っている顔？ 忍者？ あなたには何に見えますか？

区内の福祉園に通所しています。この絵（実寸73cm×73cm）が全国障害者アート公募展「みんな北斎」入賞し、昨年12月、東京スカイツリータウンに展示されました。

デザイン● 近藤浩紀（カメラマン）

●わたしの世田谷

生まれも育ちも世田谷です。
たくさんの方々との出会いがあり、
お友達も、たくさんできました。
これからも、皆様よろしくお願
い致します。

生産者と消費者をつなぐ「農」の形

世田谷の農業は東京 23 区内で練馬区に次ぐ 2 番目の規模で、野菜や果実、季節の花などが栽培されていますが、農家や農地は年々減少傾向にあります。

収穫体験ができる「ふれあい農園」や、花や野菜作りを楽しむ「区民農園」など、さまざまな体験の機会があります。取り組みとして、喜多見農業公園の運営に協力する「せたがや喜多見農とみどり」の活動と、世田谷産の野菜を販売する「ましかどマルシェ」と「旬世」、2 つの事例をご紹介します。



「せたがや喜多見農とみどり」の facebook から

世田谷の農業の現状

江戸時代から続いてきた世田谷区の農業は、都市化により大幅に縮小されたうえ、相続税等の負担が大きく、農業従事者の高齢化や後継者の確保が難しいなどの理由で、農地や農家は年々減っています。区内の農家の大半は小規模経営であるため、特定の農産物を大量生産して市場へ出荷するのではなく、多品目の農産物を少量生産し、農家の個人直売所やJAの共同直売所などで販売しています。

（「せたがや農業通信」より）

世田谷の農業が継続的に発展していくために、平成 21 年に「世田谷区農業振興計画」が策定され、この計画をもとに農業振興と農地保全に取り組んでいます。より多くの区民が「農」に関わり、農業に対する理解を深めるために、「ふれあい体験」や「区民農園」などさまざまな取り組みが行なわれています。

「農のある風景」を次世代へ

5 月のはじめ、喜多見農業公園の広々とした畑には、じゃがいも、かきな、玉ねぎが植えられ、大蔵大根の白い花が咲き、ちようちよがひらひら飛んでいます。まだ若いわの木には新芽が吹き、小粒の青い実がなっていました。

ここ喜多見地区は、世田谷区の中でも農地が多く残っており、住宅のすぐ近くに畑が点在しています。特に喜多見 4・5 丁目、東京都が創設した「農の風景育成地区」に指定されています。都市の貴重な農地を保全し、農のある風景を維持していくために、農地が残る特色ある風景を形成している地区を指定しています。

地域交流の場として農地を活用しようと、2013 年度からこの地域に農業公園を整備するための世田谷区による検討会が始まり、地域住民や近隣の農家などが集まりました。3 年間にわたる検討の

末、昨年5月、喜多見農業公園がオープンしました。その検討会に集まった有志メンバーでつくったのが「NPO法人せたがや喜多見農とみどり」です。2016年4月に設立し、1年が経ちました。副理事長の池田あすえさんにお話をうかがいました。

だれでも「農」に触れられる場

「NPO法人せたがや喜多見農とみどり（以下、農とみどり）」は、だれもが「農に触れ、学び、楽しむ」ことを目的につくられました。喜多見農業公園は世田谷区が設置して、ランドブレイン(株)が管理運営



池田さんの後ろに咲いているのは大蔵大根の白い花。

し、野菜作りを学べる講習会（今年度の申込みは締め切りしました）のほか、植え付けや収穫体験などだれでも気軽に参加できるイベントを行っています。「農とみどり」が日常的な畑の手入れやイベントなど、公園の運営に協力しています。

体験イベントでは、200円／500円の参加費を払えば苗植えや収穫に参加することができ、多くの親子連れやご近所の方でにぎわいます。こうした機会を通して活動に賛同する人が増え、この1年でNPOのメンバーが倍増しました。学生、子育て世代、サラリーマン、定年退職した方など、20代



草むしりも大事な作業

から70代まで幅広い世代がかかわっています。いろいろな人の知恵や能力を生かしながら活動していますが、NPO法人としてはまだまだ手探り中だといいます。「みなさんの意見を聞きながら、時間をかけて、少しずついいものにしていきたい」と話します。

生産者と消費者の垣根を越えて

これまでも区や農家やJAは、区内農産物を区民に届けようと、「せたがやそだち」の暖簾を掲げ、「地産地消」を推進してきました。「農家」生産者」と「住民」消費者」が、隣人として居住している世田谷ならではの利点です。そんな中でも農家の高齢化は進み、一般の人が気軽に応援したいと思っても、農業に対する知識や理解がないために農家の気持ちかららず、農家の側もプロ意識から、丹精こめた畑に土足で踏み込まれるのをためらう傾向にありました。



子どもたちが苗の植え付けを体験

池田さんは、世田谷の農家に嫁ぎ、農家の気持ちも、一般の人の感覚も両方知っています。「ここでは、地元農家の指導を受けて、本来の『農業』により近い形で、長い時間をかけて、作物も、土も育てることができ、継続することで土に対する愛着がわいてくるんです」と池田さんはいます。農業公園は農業に携わったことのない人も出入りし、そこで地域の農を体感し、生産者の気持ちや収穫までの苦労を理解してもらい、農家と住民をつなぎ、子ども達に食農の大切さを伝えていけたらと考えています。



世田谷産の野菜を売る「旬世」
収穫されたばかりの新鮮野菜が並ぶ

地産地消の「街かどマルシェ」

4月22日、世田谷通りの若林交差点近くに、世田谷の採れたて野菜を売る八百屋さん「旬世」がオープンしました。オーナーは大学在学中に起業した平野拓巳さん。実家が喜多見にあり、小さい頃から群馬県川場村の「あるきんぐクラブ」に通っていたことから、自然に関心をもち、大学時代は川場村や高崎にある農業法人で農業の勉強をしてきました。前出の「農とみどり」のメンバーでもありま

す。そうして、「世田谷でも『生業』としての農業をやりたい」と思い、大学の後輩と2016年2月に会社を立ち上げました。
ただ、現状の都市農業のしくみでは参入が難しいので、今は小売りを中心に行っています。去年の6月ごろから、地域に開いた民家の軒先を借りて世田谷産の野菜を販売する「街かどマルシェ」を始めました。世田谷産の野菜は、喜多見や烏山を中心に10軒ぐらいの農家から直接仕入れています。毎日農家に通って、信頼関係をつ



オーナーの平野さん

くつてきました。

しかし「街かどマルシェ」を増やしていく中で、屋外の販売は寒いので、やはり場所があった方がよいと考えるようになりました。固定した場所があれば商品の管理や加工もしやすく、お客さんにとってもより多くの商品から選べるというメリットもあり、今年3月に思い立って店舗を借りることにしました。それが「旬世」です。

世田谷野菜の可能性

平野さんは、「世田谷の農業に生産から販売までトータルに関



「街かどマルシェ」への出張販売
地域の人に喜ばれている

わりたい」と言います。「農業は『業』なので、農家の方は必死に生活をかけて野菜をつくつていて、わいわいと楽しみ半分です。やっているものではありません。ちゃんと『商い』としてできる農家がないと世田谷の農業は成り立たない」と話します。

平野さんたちがこれからやりたいことは「世田谷野菜の取扱量を増やすこと」。消費者のニーズを聞き取って、それをもとに農家で適切な野菜を育ててもらうようにしたいそうです。農家には消費者のニーズが直接わからないので、それを伝えるのが小売りの役割。ニーズと合えば、もつと多くの人たちに買ってもらえると考えています。実際、昔から住んでいる人たちは世田谷産の野菜を買っています。一方で、地域によって新住民が多く、「世田谷産の野菜の良さを知らない人がまだ多いので、その価値を伝える余地がある」と言います。また、飲食店か

らも世田谷産の野菜の引き合いがどんどん増えているそうです。

「生業」としての農業

平野さんは毎朝4時半に市場に行ったり、農家を回って野菜を仕入れ、7時すぎに「まちかどマルシェ」を、10時には店を開けます。

「農業はサービス業ではなく、野菜をつくって売るのが仕事」と話し、「生業」として必死に取り組むものという想いを強く感じました。

次世代に農地を残していくためにも、都市農業の「生産者と消費者をつなぐ」という意味でも、お二人のお話は新たな農業の形を探っている取り組みです。池田さんは「真摯に取り組む農業者が報われる社会であることを望みます」と話し、「生業」としての農業ができる環境づくりが必要だということがわかりました。

(取材／編集委員 市川徹)



医療福祉系
セレクトショップ

HALU
~ Unique&Universal ~

まちの 市民力!!

取材・事務局

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します

「トシかない」
「もつと直接話
したり、相談で
きた場があった
らいいのに」と
いう切実な声で
した。

三軒茶屋駅の近くの商店街に去年オープンしたのが「HALU」です。出迎えてくれたのは運営するNPO法人ウブドベの事務局長の館野友仁さん。店内にはアーティストの絵が飾られ、福祉作業所でつくっている雑貨や、だれでも使いやすいデザインの玩具や食器、文具など、こだわりの製品が並び、おしゃれな空間です。

「人が集まる場をずっとつくりたかったんです」と館野さん。医療福祉と音楽やアートをテーマにしたNPOの活動は7年を迎え、難病の子どもたちとのワークショップ等をやってきました。こうした中で家族から聞こえてきたのは、「情報を得られる場がネッ

全国から集めたイチオシのグッズの販売の他に、福祉に関する本やバリアフリー情報なども充実。ホームページをみて、わざわざ栃木から来てくれたお客さんもいました。「缶やペットボトルを簡単に開けられるオープナーを買ってくださり、後日わざわざお礼のメールをいただいたんです。指に力が入りにくい方で、缶の飲み物を飲めなかつたけど、これがあれば自分で開けられるようになった。今では毎日持ち歩いて、いつでも好きな時にジュースが飲めるようになったって」それまでは店頭のみで販売でしたが、この話を聞いて、ここに来なくても誰かが買えるようにと、オンライン

ショップもオープンしました。

また、予約制で医療・福祉関連の相談にもついています。フラットとお店に立ち寄った方と話していると「実は家族が」とポロッと語られる方もいます。ここで何でも解決できるわけではありませんが、まずは話を聞いて、いろいろな選択肢を提案したり、情報を伝えられたらと考えています。

お店のネーミングにも特別な思いが。オープンの頃、スタッフの子どもで1才を迎えた『はるちゃん』が「これからの人生でケガや病気、何があっても自分の生き方を選択しつづけられる世の中にしたい」という願いをこめて、「HALU」と名付けました。

「この街を歩いている人たち、きつとそれぞれに何かしら不安や悩みを抱えていて、でもどこにも相談できる場所がなくて困っている人がある。ここをきつかけに、解決につながればいいなと思っています」



烏山地域のキーパーソン

千葉 範子 さん
ちば のりこ

や が せ た 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介しす
取材●星野 弥生

「烏山で地域活動を長くやっている人をぜひ取材して」と、4月に借しくも逝かれた駒井澄子さんから託された「宿題」を果たしに千葉範子さんを訪ねました。

烏山区民センターでは運営協議会の運営委員長。烏山地域に23ある町会では親和会会長。烏山北小学校では学校運営委員として校長先生の相談役も。たくさん役割の原点は1980年から小学校のPTA副会長、中学のPTA会長を務められたのちに推薦された北烏山小担当の青少年委員でした。

この時に、船橋地区で青少年委員を長年務めた駒井さんと出会いました。「右も左もわからない時、

た。今も続いています」山歩きや旅行も一緒に楽しみ、「広島への研修、岩手の千厩には数回行きました」

19年前に地域で立ち上げたのが「からすやま新年子どもまつり」。区役所で行われる「新年子どもまつり」は烏山からちよつと遠いので、地元で開くことに。毎年2月の新年子どもまつりには近隣の高校の生徒さんも参加し、お店のお手伝い。参加者が延べ5000人以上でにぎわいます。子ども中心のおまつりは町会でも行われ、「町会活動、すごいですよ。夕涼み会には子どもたちが大勢参加し、お花見、バス旅行、ラジオ体操…」

駒井さんは本当に素敵でした。当時、一緒に活動した青少年委員たちは「駒の会」というお食事会でお互いに相談しあいまし

烏山北小で夏休みに「から北寺子屋」を開くようになって11年。茶道、琴、書道、紙飛行機など、地域のボランティアが子どもたちの活動をサポートしています。仙台出身の千葉さんは、3・11以降、震災復興支援にも力を入れています。手先が器用で和服を使って洋服や小物をつくり、パッチワークを教えることも。この日お持ちのバッグは、なんと革のスカートをリメイクしたものでした。「捨てられないんです。ポーツとしている時は、何かつくってますね。私は遊び上手よ」と暇なしの千葉さんです。

世田谷区の行政相談員を務めて20年。この春叙勲されました。「駒井さんからは長く続けることが大事、と教わりました」心残りがひとつ。「目の不自由な駒井さんに藤沢周平の本を読んであげるのを果たせず、お棺の中に文庫本を入れました」きつと天国で喜んでおられることでしょう。

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れています。
詳細は P10 ~ 15 をご覧ください。

「気軽にボランティアの会」
いつから? どう始める? 地域デビュー
7/1 (土) 13 時半 ~ 16 時
代田ボランティアビューロー P15

不登校 part214
4 時 ~
ル僕んち P14

●小田急線沿線

- ☆小1 男子の学童からの帰宅付き添い募集 詳細 P10
- ☆音訳ボランティア募集 詳細 P10
- ☆国立成育医療研究センターボランティア募集 詳細 P11
- ☆点訳の手助け パソコンボランティア募集 詳細 P12
- ☆ 60 代女性の介助をしてくださる方 (有償) 詳細 P12

カフェ第1回
ボランティアってなに?
8 (火) 14 時 ~ 15 時半
ボランティアビューロー P15

公開講座「遺言と相続」
6/17 (土) 14 時 ~ 15 時半
太子堂まちづくりセンター
ゲストेशन連 P15

せたがやチャイルドライン
受け手養成 公開講座
6/2 ~ 7/15 金曜または土曜 全 9 回
世田谷ボランティアセンター P14

「世田谷ボランティア協会を
ささえる会」総会
6/24 (土) 14 時 ~
世田谷ボランティアセンター P13

NPO・市民活動相談
事前にお電話でお問合せください。
世田谷ボランティアセンター P15

発達障がいのある方を
地域でサポートするための学習会 @ 三茶
6/23 (金) 13 時半 ~ 17 時
世田谷ボランティアセンター P14

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

● 京王線沿線

- ☆ 精神障害者の当事者の会のサポーター募集 詳細 P10
- ☆ 高卒認定試験の勉強のサポーター募集 詳細 P11

子育て家庭・不登校支援のための
訪問ワーカー養成講座
6/17 (土) 13時半～17時
喜多見地区会館
日本子どもソーシャルワーク協会 P13

● 東急線沿線

- ☆ 小3男子と遊んでくれる大学生ボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 小3女子の送迎ボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 中3男子の勉強をサポートしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆ 障害者の方との食事会、レジャーのサポート 詳細 P11
- ☆ 80代女性にスペイン語を教えてください 詳細 P12
- ☆ ピアノ演奏・歌唱指導ボランティア募集 詳細 P12
- ☆ 人形劇グループメンバー募集 詳細 P13
- ☆ なかまち NPO センター事務所利用団体募集 詳細 P13

もっと語ろう
6/10 (土) 1
NPOフリースク

はじめ
「音訳」
6/13
梅丘

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにお
としたり、今月のあなたの『おたがいさ』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や●で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安には是非ご活用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

東 小3男子と遊んでくれる大学生ボランティア募集

小学校3年生の男の子と遊びながら、じっくり話を聞いてくれる大学生を探しています。将棋、歴史、恐竜が大好きなお子さんと、話をじっくり聞いてくれる人がいると、気持ちさがスッキリします。

ご両親も普段からしつかり話を聞いていますが、大学生ぐらいの年代の人にかかわってもらえると、お子さんももっと楽しいのではないかと考えています。詳しく

はお問い合わせください。

●日時/火・木・金曜の夕方1時間程度、月に1〜2回から(時間・頻度は応相談)

●場所/自宅(世田谷区深沢)

●条件/大学生希望(性別不問)交通費支給。

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabara@otagaisana.or.jp

小 小1男子の学童からの帰宅付き添い募集

砧に住んでいる小学校1年生の男の子がBOP(学童)から家に帰るときの付き添いをしてくれる方を探しています。普段は親御さんがつきそっていますが、できないときに、小学校まで迎えに行つて一緒に自宅に帰ります。

すでにボランティアがひとり決まっています、無理せず2人でサポートする予定です。人なつこい明るい男の子です。子どもが好きな

方、ご連絡をお待ちしています。

●日時/月に1〜2回程度(おおむね2週間前にわかります)18時に学校にお迎え。自宅まで徒歩約20分。

●場所/世田谷区立明正小学校

●条件/女性。交通費支給(上限あり)

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

東 小3女子の特別支援学級への送迎ボランティア募集

小学3年生の女子が小学校へ通う際の送迎をして下さる方を求めています。現在は祖母が送迎していますが、だんだん大変になってきました。おとなしい、歌が好きな女の子です。週1回でもお手伝いしていただくと助かります。

●日時/火曜日 行きは7時45分〜8時半頃、帰りは17時

●条件/お近くにお住まいの方、男女不問

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

小 音訳ボランティア募集

世田谷録音奉仕グループひびきは、梅丘で39年間、視覚障害者のための録音図書を作り続けています。デジタル録音、デジター編集など一緒に活動して下さる方を募集しています。興味・関心のある方は、ぜひお問い合わせください。

●日時/例会は毎月第1、第3火曜日の午前中(作業によっては午後もあり)

●場所/梅丘ボランティアビューロー(録音、編集作業は自宅)

●年会費/1000円

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520

京 精神障害者の当事者の会のサポーター募集

精神障害者の当事者の会アドジャストでは、会の運営のサポートをして下さる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時/会合は月1回程度(不定期開催)

●問合せ/アドジャスト担当 猪俣

080・9413・3454

会合の書記、チラシや入会案内

話し合う会を開催しています。

会合の書記、チラシや入会案内

話し合う会を開催しています。

会合の書記、チラシや入会案内

東 中3男子の勉強をサポートしてくださる方募集

光明特別支援学校に通う中学3年生の男子の勉強をサポート、教えてくださる方を募集します。高等部への進学に向け、勉強をしていきたいと思っています。(小学校高学年の復習及び中学校1・2年程度) 先天性筋疾患のため身体が不自由で、ページをめくったり、文字を書いたりができず、ひとりでは勉強を進めていくことができません。普段はベッドで、ブックスタンドを使って勉強をしています。コミュニケーションはできるので、本やプリントをめくったり、回答を書いたり、わからない部分を教えてくださる大学生の

東 障害者の方との食事会、レジャーのサポート

「どんな障害がある」とも、産まれ育って住み慣れた地域での生活を大切に「ガチャパン」ともに生きる会では地域の障害者の方との食事会、カラオケ、ボウリング、旅行といったレジャーの付き添いをお手伝いしてくれる方を募集しています。資格不問、期間、回数など応相談です。

- 方を探しています。
- 元気でやる気があるのですが、数学など特に苦勞しています。詳しくは、お問い合わせください。
 - 日時/平日の18時〜、または20時〜1時間半程度 週2回 (曜日は応相談)
 - 場所/上馬4丁目の自宅まで
 - 交通/駒沢大学駅徒歩8分
 - 募集人数/1名
 - 条件/大学生。1回1500円支給
 - 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
 - TEL 5712・5101
 - suzuki@otagaisama.or.jp
- ので、メールでもお気軽にお問い合わせください。
- 日時/主に月に2〜3回、土曜の午後〜夕方
 - 場所/三軒茶屋
 - 募集人数/若干名(資格不問)
 - 問合せ/特定非営利活動法人ガチャパンとともに生きる会 担当 池田
 - TEL 3487・4250
 - gachapan@gplace.jp

京 高卒認定試験の勉強のサポートをしてくださる方募集

今年8月2日、3日に行われる高卒認定試験の受験のために勉強をサポートしてくださる方を、精神障がいのある23歳の男性が探しています。

認定に必要な科目は生物と世界史で、生物は比較的順調なのですが、世界史に苦勞しています。平日は14時〜17時の間に、土日は時間があれば勉強しています。インターネットの動画を使って勉強していますが、なかなか成果が上がらないため、どのように勉強をしていったらよいかのアドバイスや進捗のチェックなど週に1回程度、協力してくださる方を探しています。

小 国立成育医療研究センターのボランティア募集

成育医療研究センターは主に小児が対象の医療機関です。外来ガイド、休日救急のガイド、病棟シッティング、図書、シヨップ、園芸などを行っています。詳細はホームページをご覧ください。

●日時/6月21日(水) 13時半〜16時

- 穏やかな性格の方で、服薬によって体調は安定しています。強迫観念がでてしまったり勉強が手につかなくなったりしてしまつので、本人の体調やペースを尊重しながら協力してくださる方を求めています。
- 日時/平日の14時〜17時の間、または土日の15時〜19時の間の1時間程度 (曜日は応相談) 週1回程度
 - 場所/芦花公園駅近くの自宅(グループホームの交流スペースを利用します)
 - 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
 - TEL 5712・5101
 - suzuki@otagaisama.or.jp
- 場所/国立成育医療研究センター 1階 講堂
- 条件/18歳以上で心身ともに健康な方(但し、学生は原則不可)
 - 問合せ/成育医療研究センターボランティアの会 事務局
 - TEL 3416・0181

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。7月号掲載は6月10日(土)に締め切ります。

東 80代女性にスペイン語を教えてくださいださる方募集

野沢にお住まいの80代の女性にスペイン語の基礎を教えてくださいださる方を募集しています。いっしょに勉強したい方も募集しています。

●日時/土日の午前中1時間程度
(または月・木・金曜のいずれか、午前中)、月1〜2回でご相談

●場所/野沢3丁目の自宅

●募集人数/①スペイン語を教えてくださいださる方1名、②勉強したい方2名

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
TEL 5712・5101
rinyzak@tagasama.or.jp

小 点訳の手助け パソコンボランティア募集

梅丘ボランティアビューローで活動をしている視覚障がいの方のための点訳ボランティアグループ「てんとつむし」では、本を点訳していただくボランティアを募集しています。点訳までの工程の中の「原稿(紙面)をテキストデータにする作業」を手助けしてもらえませんか? ご自宅で、ご自分の時間に合わせて活動ができます。

●作業工程/①原稿をスキャンしてテキストデータに変換。

②原稿の文字と、スキャンしたテキストデータに齟齬がないか確認。③修正データをメールで「てんとつむし」に送信。

●日時/ご自分の時間に合わせて活動ができます。

●場所/ご自宅での作業です

●条件/スキャナーをお持ちの方。または文字数が多くても文字の入力が苦にならない方。

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520

東 ピアノ演奏・歌唱指導ボランティア募集

九品仏生活実習所では、毎週木曜日に音楽クラブを行っています。知的障害を持つ利用者の方と音楽活動を行ってくださる方を募集しています。童謡程度のピアノやギター演奏、歌唱指導が出来る方を希望します。月1回からでも構いません。

●日時/毎週木曜日

●場所/九品仏生活実習所
(世田谷区奥沢7・39・13)

●交通/九品仏駅

●募集人数/1〜2名

●条件/ピアノなどの楽器演奏、歌唱指導が出来る方

●問合せ/九品仏生活実習所 担当 正岡
TEL 3703・1519

有償スタッフ募集

東小 日曜日の午後に介助をしてくださる方募集

宇奈根2丁目に住む脳性麻痺のある60歳の女性の方が、日曜日の午後を介助をしてくださる方を探しています。語学に堪能で、仕事の傍ら、車を運転して出かけダイビングされたりしていました。以前は歩くことや食べることができましたが、春に手術をし、10月に退院をしてからは困難になってしま、今リハビリをしています。

●日時/日曜日 12時〜16時頃 (他の曜日の夜間も募集中)

●場所/宇奈根2丁目のご自宅

●条件/時給1000円、60歳未満の女性。重度訪問介護の資格のある方(ない方は資格取得の費用をサポートします)、経験は問いません。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@tagasama.or.jp

平日の昼間は自宅で仕事をされ、ヘルパーさんのサポートを得ながら生活していますが、日曜

日の昼間は自宅で仕事をされ、ヘルパーさんのサポートを得ながら生活していますが、日曜

講座・その他・募集

東 人形劇グループ「ビビデバビデ（仮）」 メンバー募集

NHKなどで長年人形劇に関わられてきた星野さんが「人形劇は観るのも面白いけど、演じるのも楽しいのよ」とボランティアセン

ターに相談に来られました。そこで、人形劇のグループをつくって、人形作りをしたり、稽古をしながら子どもたちに観てもらえる活動をしていきたいと思っています。

●日時／毎週土曜日 10時～12時
●場所／世田谷ボランティアセンター 会議室

●募集人数／6人程度

●会費／月500円（入会時別途1000円）人形をつくったりする材料代に充てます

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101
suzuki@otagaيسانa.or.jp

東 世田谷ボランティア協会をささえる会総会

「ささえる会」の総会を行います。総会の前に、これから夏番にむけて、梅を使った料理や健康法について話を聞きます。福岡県八女市の乾物の紹介や販売もあります。

●日時／6月24日（土）梅の講習会 14時～、総会 15時～

●交流会 16時～18時（予定）
●場所／世田谷ボランティアセンター

●問合せ／世田谷ボランティア協会をささえる会 担当 太田・植田
TEL 5712・5101

東 なかまちNPOセンター 事務所利用団体募集

なかまちNPOセンターでは、事務所スペースの貸し出しや、地域の様々な活動に利用できる共有スペースの貸し出し等を行なっています。

現在、事務所スペース（広さ約13平米）として1部屋空きがあります。入居及びシェアオフィス利用申込をする際には、事前の面談等が必要になります。見学可能です。家賃等、詳しくはお問い合わせください。

●利用期限／最長で平成32年3月末まで
●場所／なかまちNPOセンター（世田谷区中町2・21・12）
●交通／上野毛駅徒歩8分
●条件／非営利で公益的な活動を行うNPO法人等

●問合せ／なかまちNPOセンター事務局
070・5566・5803
npo@naih.or.jp

小 子育て家庭・不登校支援のための 訪問ワーカー養成講座

日本子どもソーシャルワーク協会では、子育て家庭に訪問して家事や育児のサポートを行いながら子ども・家族を支える「ケアワーカー」、不登校・ひきこもり・発達障がいの子どもや若者に寄り添い自分らしく生きることを支える「ユースワーカー」の活動を行っています。活動を始めたばかりの方や、活動について知りたい・検討したい方向けの講座を行います。活動に関するお問い合わせもお気軽にどうぞ！

●日時／6月17日（土）13時半～17時（開場13時15分）
●場所／喜多見地区会館
●交通／喜多見駅徒歩3分
●募集人数／定員35名
●参加費／一般1000円、学生500円
●問合せ／申込み／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 水野
TEL 5727・2133
kodono-sw@jcs.jp
http://www.jcs.jp/

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。7月号掲載は6月10日（土）に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

東 発達障がいのある方を 地域でサポートするための学習会@三茶

発達障がいの研究・教育・実践に長年たずさわってきた講師が、発達障がいについてわかりやすく解説します。地域で、また一緒にボランティアをする際に、信頼関係を築くためのヒントが得られると思います。

●日時／6月23日（金）13時半～17時

●場所／世田谷ボランティアセンター（会場と申込み先が違うので、ご注意ください）

●講師／平雅夫氏（世田谷区発達障害者就労支援センターゆにセンター長）

世小 「もつと語ろう不登校 part 2 14」

これまで23年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／6月10日（土）14時～

●内容／発達障がいについての講義、発達障がいの特性をもつ方のお話、ワークショップと交流

●参加費／500円（資料代）
●定員／30人（先着順）
●主催／世田谷ボランティア協会・世田谷区

●申込み方法／電話・FAX・メールで受付（メールの場合、件名を「発達サポート学習会申込み」）

●申込み・問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
FAX 3708・3058

tamaborae@otagaisama.or.jp

●場所／NPOフリースクール僕んち

●参加費／300円（カンパ歓迎）

●交通／梅ヶ丘駅、東松原駅

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 高橋
TEL 3327・7142

東 チャイルドライン受け手養成 公開講座

18才までの子どものための電話「チャイルドライン」の受け手を養成する研修の一環です。子どもの声を受けとめられる大人になるための講座で、子どもと直接関わってきた講師陣の生の声やワークを体験して、せたがやチャイルドラインの「聴く」を体感してみませんか。公開講座ですので、興味のある回だけでもご参加いただけます。

●日時／6月2日（金）～7月15日（土）まで全9講座

金曜は夜間、土曜は午後開催

●内容・講師／

① 6月2日（金）19時～21時半
ワーク「出会いのワーク」文屋裕子

② 6月9日（金）19時～21時半

講義「ボランティアが支えるせたがやチャイルドライン」星野弥生・植田祐一

③ 6月16日（金）19時～21時半

講義「手に入れた。まなざし。」西野博之

④ 6月23日（金）19時～21時半

講義「遊びのチカラ・子どもの今」天野秀昭

⑤ 7月1日（土）13時～15時15分

ワーク「子どものことばに、ふれてみる」田野浩美

⑥ 7月1日（土）15時半～17時45分

講義「いじめと不登校」経験者の立場から「須永祐慈

⑦ 7月8日（土）15時～17時半

講義「子どもが置かれている現状と関係機関の役割」和田芳子

⑧ 7月15日（土）13時～15時15分

ワーク「コミュニケーションの体験」山本多賀子

⑨ 7月15日（土）15時半～17時45分

講義「思春期の性・男子の性・性的なこと、話せますか？」村瀬幸浩

●場所／世田谷ボランティアセンター

●参加費／1講座2000円（学生半額）

●定員／20名

●申込み／メールまたはFAX
●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局

TEL 5712・5101
FAX 3410・3811
childline@otagaisama.or.jp

小

はじめカフェ第1回 音訳ボランティアってなに？

目の不自由な人のための朗読や、録音図書に興味のある方、何かボランティアをはじめてみたいという方、ぜひご参加ください。「字が見えづらくなった」という方も大歓迎！ 気楽なカフェスタイルで、途中の出入りも自由です。

●長年活動している音訳ボランティアグループ・ひびきの皆さんと、気軽に話してみませんか？
●話題提供／世田谷録音奉仕グループ ひびき（梅丘で39年間、視

東 公開講座「遺言と相続」

財産がある・なしではありません！ 自分自身を自分で決めていく、大事な法律をわかりやすく解説します。（参加無料）

●日時／6月17日（土） 14時～15時半

●場所／太子堂まちづくりセンター 2階活動フロア
●講師／中山二基子弁護士（中山法律事務所、前・世田谷区成年後見センター所長）

覚障がい者のための録音図書を作り続けているボランティア活動グループです）
●日時／6月13日（火） 14時～15時半（出入り自由）

●場所／梅丘ボランティアビュロー
●交通／梅ヶ丘駅徒歩8分

●参加費／300円 要事前予約
●問合せ／梅丘ボランティアビュロー

TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

●交通／三軒茶屋駅徒歩4分

●募集人数／50名（要申込）

●申込み／電話、FAX（氏名、年齢、性別、住所、電話番号）

●主催／ケアステーション連
●協力／太子堂あんしんすこやかセンター

●申込み・問合せ／
ケアステーション連
TEL 6804・0405
FAX 6805・4718

東 NPO・市民活動相談会活用ください

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団

体問わず相談可能です。まずは電話でお問い合わせください。（相談無料。事前予約制）

小 気軽にボランティアの会

「いつから？どう始める？地域デビュー」

「自分にできるボランティアって？」 「地域に仲間をつくりたい」

先輩ボランティアさんの体験談を聞きながら、ご自分に合った活動やお仲間を、ここで一緒に探してみませんか？

《今回のゲストスピーカー》

日本語教室ボランティア、傾聴ボランティア、物づくり、落語人形劇、パザーなどでボランティア活動をされている方、数名の予定。

《参加者の感想より》
「体験談を聞いて、私自身も何かに参加していきたいと思いました」 「ボランティア活動を楽しんでいる方々のお話はとても深く、聞いていて心に届くものがあった」

た」 はじめの一步、まずは気軽にご参加ください。

●日時／7月1日（土） 13時半～16時 ※13時15分受付開始

●場所／代田ボランティアビュロー 2階（靴を脱いで上がるじゅうたん敷きのお部屋です）

●交通／世田谷代田駅すぐ

●募集人数／8名

●条件／ボランティア・地域活動に関心のある方などなでも。

●参加費／500円（資料代、茶菓代）

●申込み・問合せ／代田ボランティアビュロー
TEL 3419・4545
dairabara@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

6/2～3代田ビューローバザー、梅丘では「はじめカフェ」が始まり、玉川は傾聴ボランティア講座実施中。
6/23センターで発達障がい者の支援のための学習会もあります。ぜひ参加してみませんか?

◆ふらっと&withより

梅雨入りの前に本番の夏が到来したかと思う暑い5月でした。これからは梅雨本番。バラの花から紫陽花と街の移りゆく様子を毎日楽しみに過ごしています。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます!世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

6月2日から第22期の受け手養成講座が始まります! 子どもの問題に関心のある方や、子育ての参考にしたい方、興味のある回の参加もお待ちしております。

編集後記

- 今回の取材を通して、日本の食糧自給率39%、農業従事者が人口の3%、平均年齢が65才を超えていると知り、もっと真剣に現状の認識を深めなければと思いました。
- 「HALU」は駅からボラセンまでの間にあって、実は前から気になっていました。初めてだとなんとなく入りづらいかもしれませんが、ぜひ勇気を出して階段を上ってみてください。
- 表紙の篠崎さんの絵、ホームページにはカラー版も掲載していますので、ぜひご覧ください。
- 昨年開校した日本大学の三軒茶屋キャンパス。新1年生が入学して、三茶を歩く学生が増え、活気が増えています。(み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
興梠 寛